

# きんぎょ



196 号



第 23 回修習技術者発表研究 全国大会	修習技術者支援委員会
生成 AI の世界にどっぷりはまろう 生成 AI 使いこなし	情報工学部会
地球温暖化問題に関する最新の科学	環境研究会
開業して 5 年を振り返る	孝治正和
技術士事務所を株式会社に「法人成り」した経験談	坂東大輔

# 目次

## 巻頭言

技術士のコンピテンシーについて思うこと～昔と違う技術士の資質能力～	小林 茂	1
-----------------------------------	------	---

## 近畿本部/支部 報告・予告

理事会だより (2023-No.4)	河野千代	2
2023 年度 第 5 回近畿本部役員会議事録 (案)	田岡直規	5
第 23 回 修習技術者発表研究 全国大会	修習技術者支援委員会	8
第 5 回 わたしのコンピテンシー発表会	修習技術者支援委員会	9
第 3 回 「TEAM EXPO 2025」	2025 大阪関西万博参画実行委員会	10
令和 6 年日本技術士会近畿本部新春記念講演会	研修委員会	13

## 部会/活動グループ 報告・予告

NEXCO 西日本のインドネシアでの挑戦	建設部会	14
試験研究の現場から見た水産加工の基礎と応用	農林水産部会	16
排ガス処理装置の予兆保全導入に向けた取り組み	衛生工学部会	17
史上最大のエアバッグリコールを公開資料から読み解く	経営工学部会	18
生成 AI の世界にどっぷりはまろう 生成 AI 使いこなし	情報工学部会	20
ゼロカーボン時代に対応した今後の送配電設備について	電気電子部会	24
工場排水規制の仕組み／既設浄水場の更新計画	上下水道部会	26
マテリアルイノベーション	化学部会	28
機械システム構築における機能性と安全性の造りこみ	機械システム部会	30
東洋食品工業短期大学 見学会 並びに講演会	関西食品技術士センター	33
品質管理活動 (品質マネジメント) / ISO 9002,9004,TQM	ISO 研究会	34
nite 見学／カーボンニュートラルを目指す航空用推進システム	技術士業務研究会	36
地球温暖化問題に関する最新の科学	環境研究会	38

## 技術解説

金属疲労は気付くのが困難	木藤 茂	41
--------------	------	----

## 連載 技術士事務所経営

開業して 5 年を振り返る	孝治正和	42
技術士事務所を株式会社に「法人成り」した経験談	坂東大輔	44

## コラム

地震と三種の神器	村岡誠彦	48
----------	------	----

## 編集室だより

本号の表紙「ふきのとう」	小嶋房夫	50
技術士 (CPD 認定) 取得チャンスのお知らせ	近畿本部	51
3-5 月行事予定	「きんき」編集室	52

## 技術士のコンピテンシーについて思うこと

～昔と違う技術士の資質能力～

近畿本部 研修委員会委員長 小林 茂（建設/総監）



近畿本部での活動も早3年目となり、昨年より研修委員会の委員長として活動しています。

研修委員会では会員各位のCPD活動を支援すべく、関係行事の企画や運営・実施を行っていますが、活動の中で感じるのは生成系AIやDXなどに代表される最新技術は日進月歩どころか秒進分歩で高度化、多様化しており、このような状況に対応していくためには、やはり技術士に求められる「コンピテンシー(資質能力)」を意識して活動することが重要ではないかということです。

そこでここでは、「コンピテンシー (資質能力)」に関して技術士会での活動や本業の建設コンサルタント業務を通じて感じていることについて、自戒の念も含め、改めて思うことを記します。

**○専門的学識**：私がかつて技術士資格を取得した当時はこの専門知識がすべてであり、他の能力などは眼中になかったと思っています。コミュニケーション、マネジメントなどは技術士としての業務経験で知れば良いとしか考えておらず、時代のニーズは変わったと感じています。

**○問題解決**：最近、この言葉をよく耳にします。技術士ですので専門知識の引出しを多数持ち、複合的課題に対して解決する能力を持っているはずですが。しかしながら、現代の目まぐるしく変化する時代では常に新しいことを学び続ける継続研さんは欠かせないと考えています。

**○マネジメント**：技術士取得後、その技術を活かして管理能力を高めるものと考えていましたが、現在の制度では技術士となった時点から品質・コスト・工程など相反する課題を業務管理者として解決する能力を必要としています。この能力を有するためには普段からマネジメントを意識した業務遂行が重要と思っています。

**○評価**：上述の「問題解決」の本筋かと思えます。業務遂行において評価は重要でありコストや必要な性能など、その案件に応じた評価軸を設定できることが技術士としての能力かと思えます。

**○コミュニケーション**：高い専門性を有する技術士は、専門技術を詳しく知らない方々に平易でわかりやすい言葉でその技術を説明できることこそ本当のプロと考えています。この能力を有しているからこそ、技術士は技術に精通したプロフェッショナルと思っています。

**○リーダーシップ**：建設コンサルタントで業務を進めるためには社内の担当者や上司、協力会社、社外のクライアントや事業関係者との調整が重要になってきます。多様な関係者がいる中で業務目的を考え、発生する問題を解決するためには専門的知識は無論のこと、コミュニケーションやマネジメントなどの資質能力を総動員してその方向性を見出し、業務を遂行・管理することが重要と考えています。

**○技術者倫理**：この巻頭言を執筆中にも自動車メーカーによる社内試験不正問題が連日マスコミに採り上げられています。組織に属するとつい身勝手な組織内の論理を優先させ、公益が最優先であることを忘れがちです。組織人である前に一技術者であることを再認識させられる事案です。

**○継続研さん**：昨年1月より技術士の資質能力の一つとして加えられました。私の業界でも様々な資格がありますが、ほとんどの資格は更新の際にCPDポイント確保や更新試験を課しており、技術士のように取得したら何もしなくても生涯資格保持者という方が稀と感じています。CPD活動の実践とそれを証明するための登録が重要です。

**【最後に】**：以上、資質能力に関して日ごろ感じていることを思いつくままに書かせていただきました。日々精進、ベテランになっても必要な資質能力の維持更新、そしてCPD記録の継続を。